

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

(2007年7～9月期)

第46回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - （1）前期比（平成19年4～6月との比較）
 - （2）前年同期比（平成18年7～9月との比較）
 - （3）来期見通し（平成19年10～12月の見通し）
5. 業種別の景気動向
 - （1）製造業
 - （2）建設業
 - （3）卸売業
 - （4）小売業
 - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	192社
回答率	38.4%
(業種別)	
製造業	73社
建設業	38社
卸売業	20社
小売業	28社
サービス業	33社
合計	192社

(2) 実施時期

平成19年7～9月期

(3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

2. 調査結果 (D I)

D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売上D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)

採算D I = (好転 ") - (悪化 ")

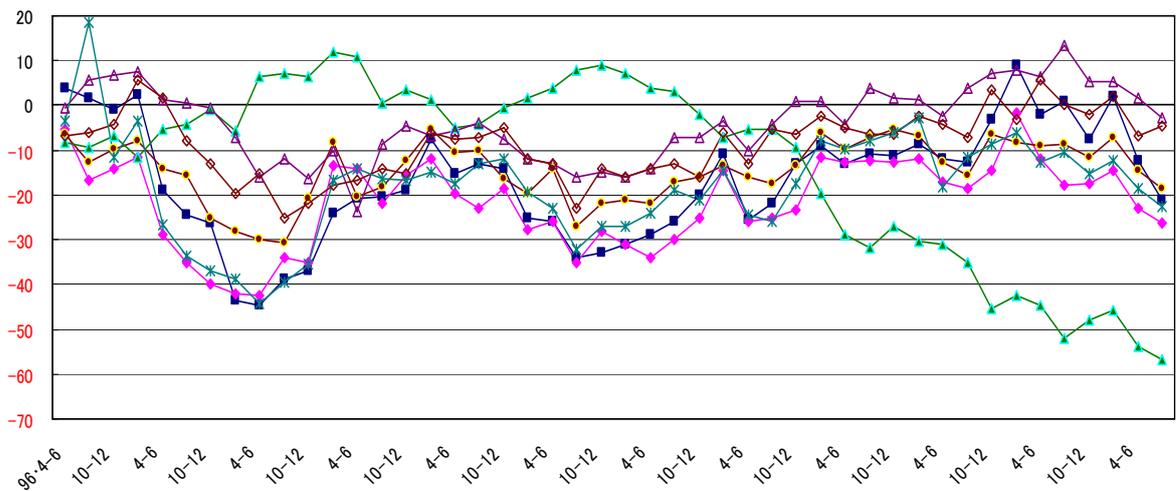
資金繰りD I = (好転 ") - (悪化 ")

仕入価格D I = (下落 ") - (上昇 ")

雇用状況D I = (不足 ") - (過剰 ")

設備投資D I = (拡大 ") - (減少 ")

業況D I = (好転 ") - (悪化 ")



前年同期比 (全企業D I の推移)

	05/1-3	4-6	7-9	10-12	06/1-3	4-6	7-9	10-12	07/1-3	4-6	7-9
■売上	-8.7	-12.1	-12.6	-3.3	8.8	-1.9	1.0	-7.4	2.1	-12.4	-21.1
◆採算	-12.0	-17.2	-18.6	-14.6	-1.5	-12.1	-17.8	-17.5	-14.4	-23.0	-26.3
●資金繰り	-6.7	-12.6	-15.6	-6.6	-8.2	-8.9	-8.7	-11.6	-7.2	-14.6	-18.6
▲仕入価格	-30.3	-31.2	-35.2	-45.3	-42.3	-44.6	-51.9	-48.1	-45.9	-53.9	-56.7
△雇用状況	1.4	-2.3	4.0	7.1	7.7	6.4	13.5	5.3	5.2	1.7	-2.6
◇設備投資	-2.4	-4.2	-7.0	3.3	-3.1	5.7	0.0	-2.1	2.1	-6.7	-4.6
*業況	-2.9	-18.1	-11.6	-8.5	-6.2	-12.7	-10.6	-15.3	-12.4	-18.5	-22.7

3. 概況

「依然として建設・小売が厳しい状況」

(1) 今期の特徴

前期比のD I 値は、前回調査より改善し全業種ではプラス値を示した。業種別では、製造・卸売・サービスは売上D I がプラスだが、建設・小売が足を引っ張っている。

前年同月比のD I 値は、全業種ではほとんどの項目で前回調査でより悪化している。業種別でも同じく前回調査より悪化しているが、公共投資圧縮と入札制度改定の影響が大きい建設業が最も厳しい数値となっている。

また、全業種とも原油価格高騰の影響を受け、大きな影響を受けている模様。

(2) 来期の見通し

来期の見通しは、全業種では前回調査より改善しほとんどの項目で改善をみせた。業種別で見ると、来期は年末需要を期待できるため、製造業・卸売・小売・サービスで売上D I がプラス値を示している。建設業のみがほとんどの項目で大きなマイナス値となり、ひとり取り残されている状況。

ここでも、原油価格の高騰により、仕入価格が大きなマイナス値を示し、中小企業の懸念を現している。

(3) 経営上の問題点

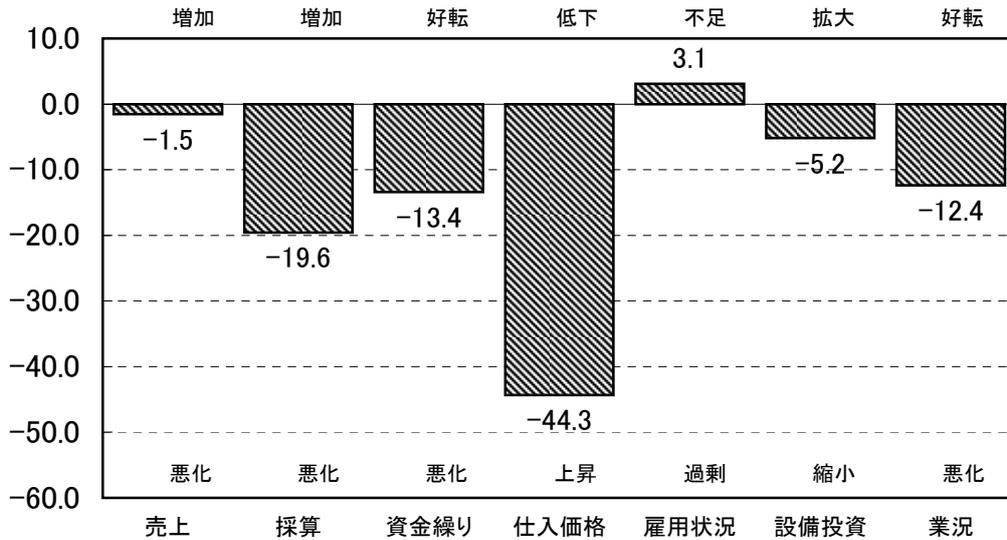
今回は上位の順位に変動はなく、やはり「需要の停滞」が1位で、2位に「原材料価格の上昇」、3位に「製品（販売）単価の低下・上昇難」と続き、上位3つは前回と不変。

(4) 今後の対応策

今回も、「新規市場を開拓したい」が1位、「その他合理化を実施したい」が2位と上位を占める。少し離れて、「新製品の開発を行いたい」が3位と続いている。

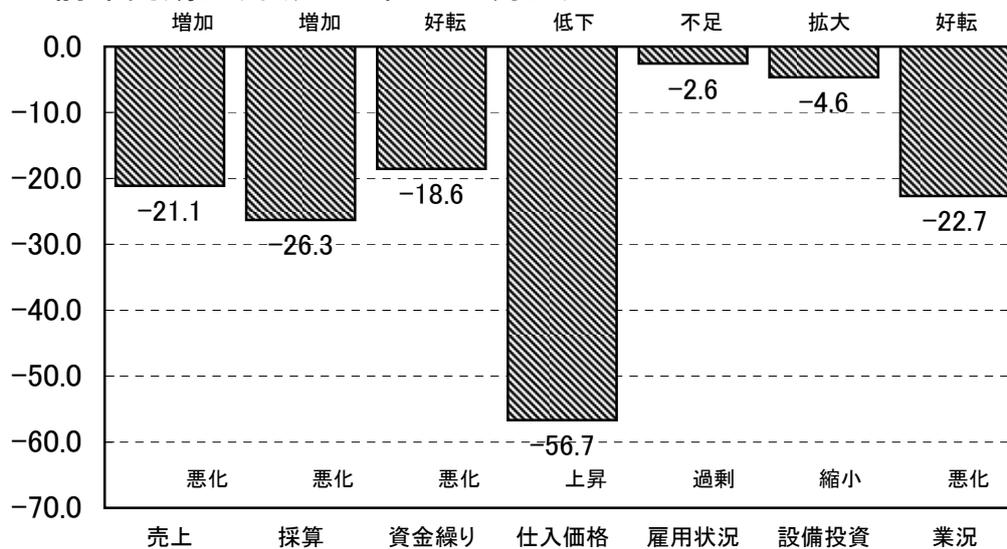
4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成19年4～6月比)



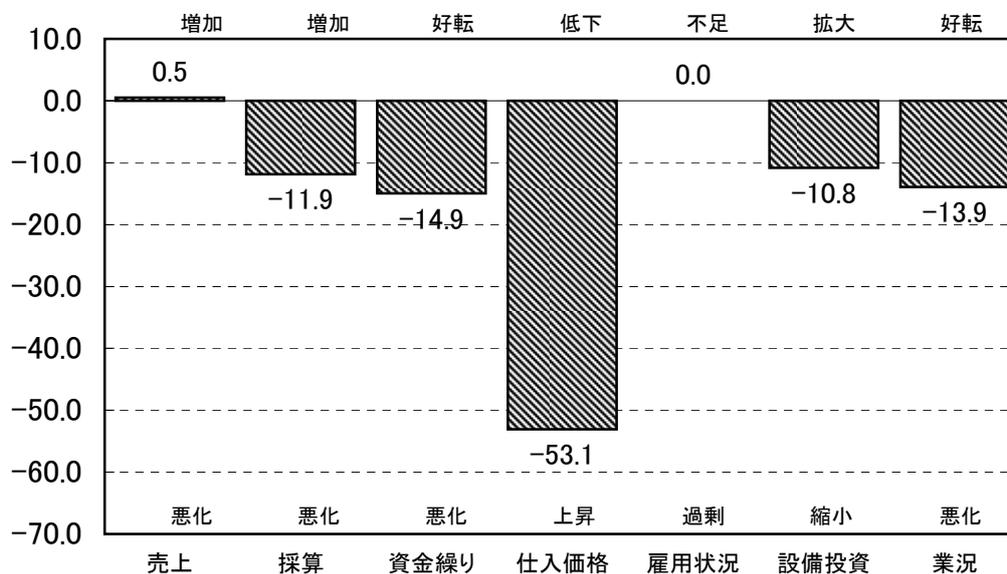
全業種でのDI値は、売上が前回調査より改善し、プラスに転じた。その他の項目は、前回並み。業種別では、前回調査より改善しているものの、建設業・小売業が厳しい数値を示している。

前年同期比(平成18年7～9月比)



前年同期比のDIは、ほとんどの項目で前回調査より悪化。程度はあれ、全業種とも悪化しているが、特に公共工事圧縮と入札制度改定の影響を受けている建設業が足を引っ張り、小売業が厳しい数値を示している。

来期見通し(平成19年10～12月見通し)

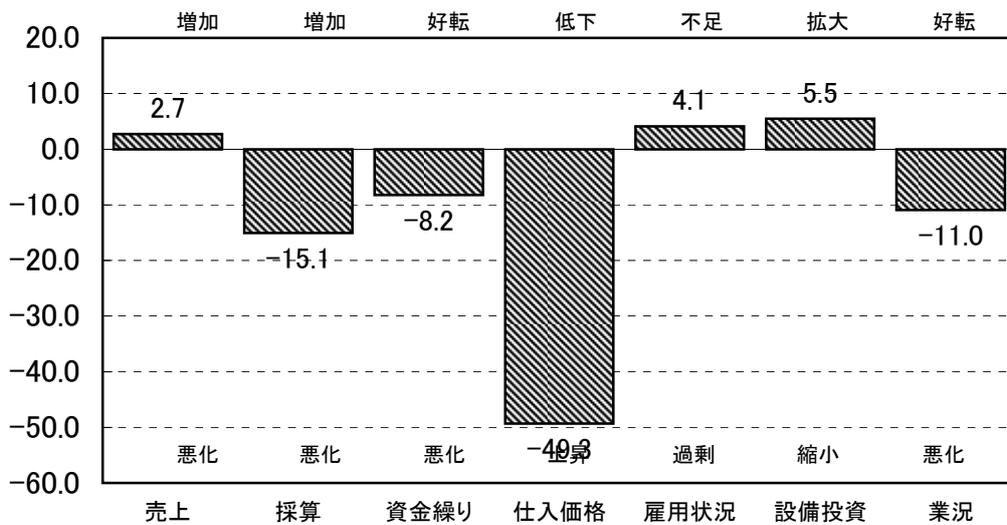


来期の見通しでは、売上DIが前回調査より改善、プラスに転じた。ただ、年末需要が期待できる他の業種に比べ、建設業だけが大きなマイナスと取り残されている。仕入価格DIに関しては、原油価格の高騰を懸念してか、ほとんどの業種で大きなマイナス値となっている。

5. 業種別の景気動向

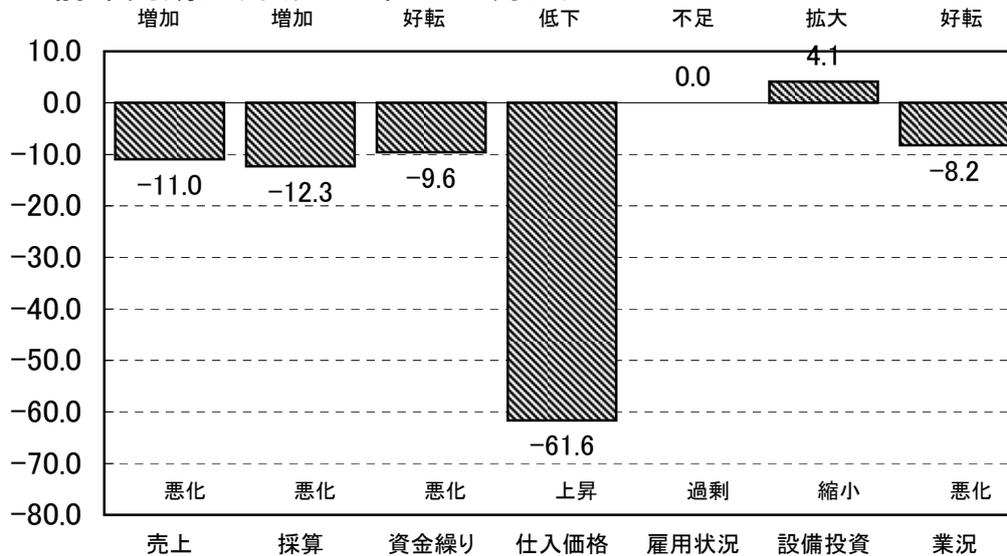
(1) 製造業

前期比(平成19年4～6月比)



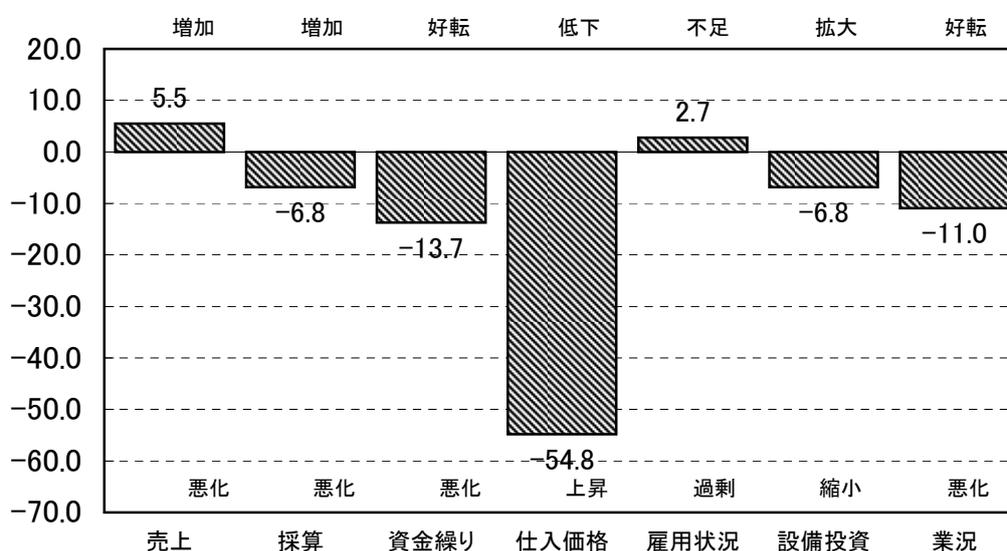
「住宅着工減少」(建築資材)、「国内自動車関係の伸び悩み」(一般機械器具)等の声が聞こえるが、売上DI値は改善している。ただ、原油価格の高騰による「原材料の値上げ」に関するコメント多し。

前年同期比(平成18年7～9月比)



「アジア圏での建設機械需要増」(一般機械器具)、「新規開拓により堅調」(焼酎)等の声もあるが、前回調査でプラスであった売上DIがマイナスに転じた。やはり、原油価格高騰の影響も大きい。

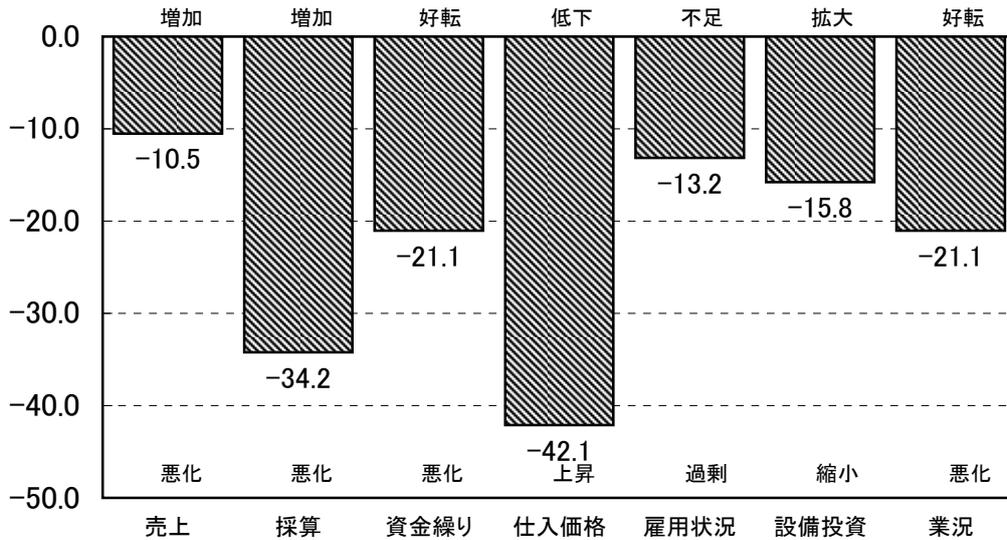
来期見通し(平成19年10～12月見通し)



「公共工事抑制と入札制度改定」(セメント)、「不採算部門の東南アジアへの移管」(オイルシール)の影響もあるが、年末に向けての期待が売上DIはプラス、採算DIも若干改善を見込んでいる。

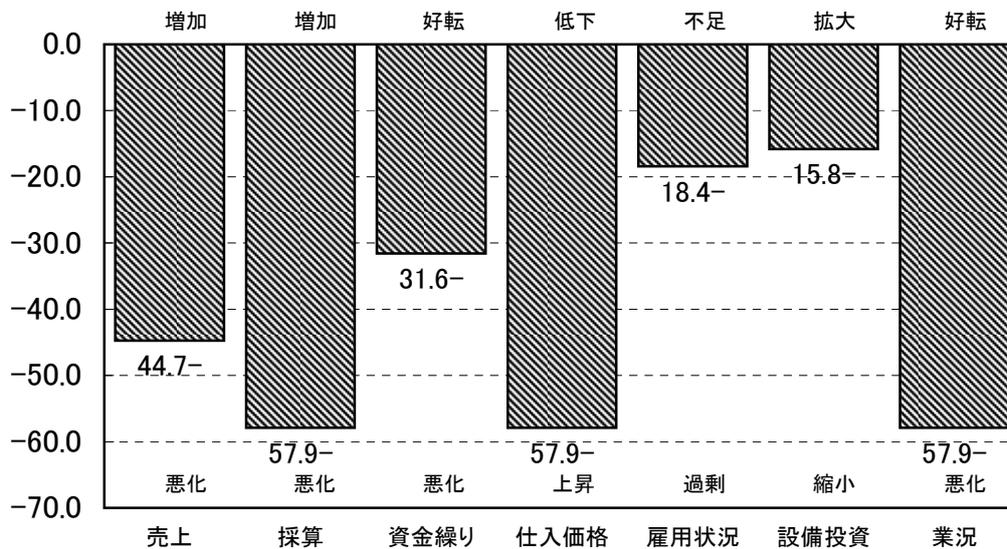
(2) 建設業

前期比(平成19年4～6月比)



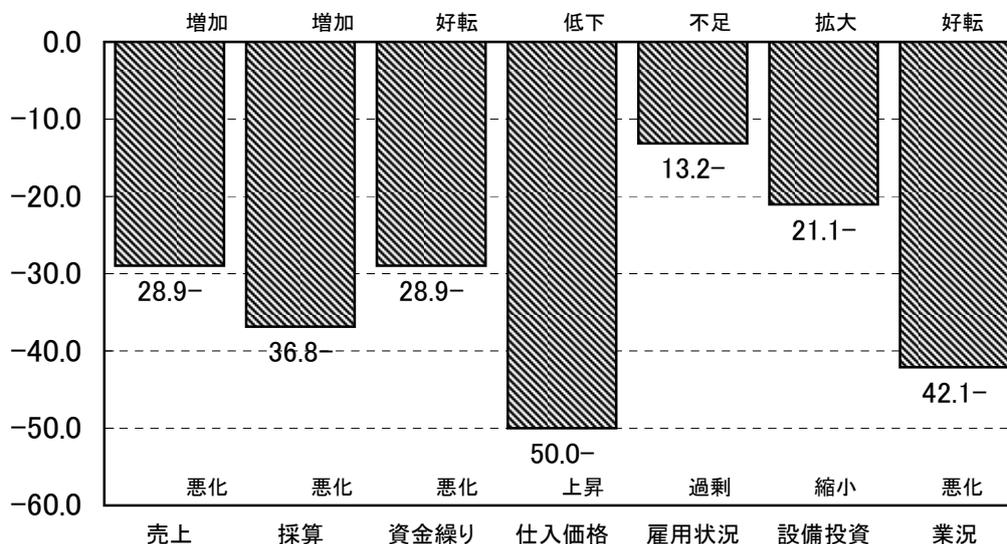
前期が年度初めの最悪期であったため、前期比DIは数値的にはほとんどの項目で改善をみせた。業況全てが良くなったというわけではなく、公共工事減少⇒仕事減、入札制度の改正⇒競争激化しているとみられる。

前年同期比(平成18年7～9月比)



前年同期比DIは前回調査とほぼ同じだが、全業種中最も悪い数値となっている。公共工事抑制、入札制度変更に加え、燃料の高騰が大きな問題となっている。

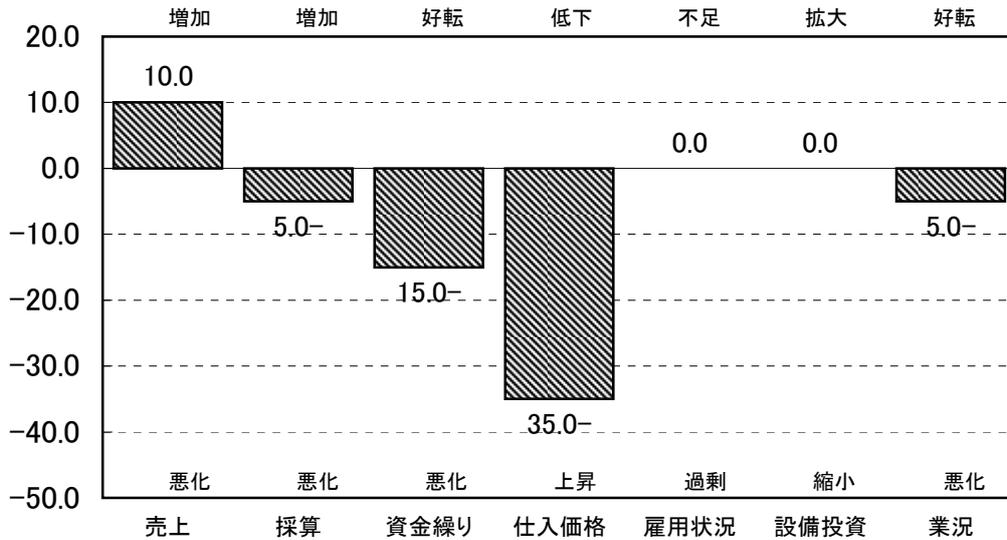
来期見通し(平成19年10～12月見通し)



来期見通しDIは前回調査に比べ改善を見せている。ただし、他の業種が年末に向けて売上DIがプラス予想である中、本業種だけ大きなマイナス。業界の厳しい状況を物語っている。

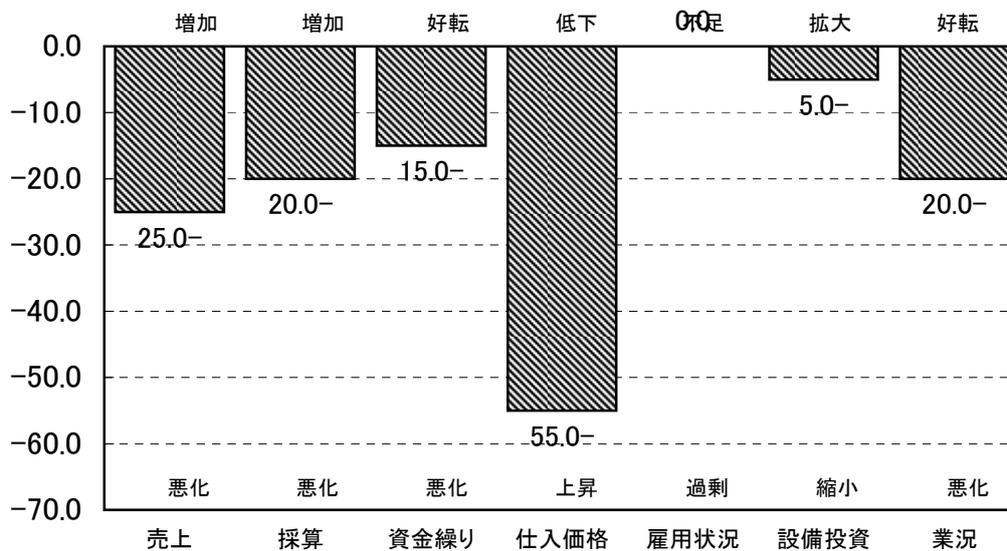
(3) 卸売業

前期比(平成19年4～6月比)



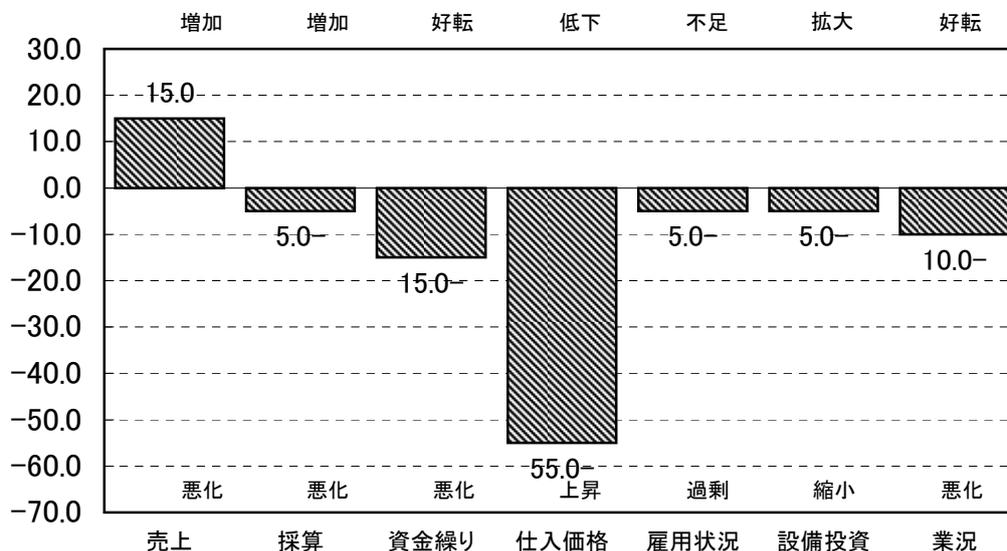
同じ卸売の中でも紙文房具や機械工具のような「夏枯れ」もみられるが、取引量が増加する青果卸、中元期にあたる食料品卸が引っ張り前期比D Iは改善している(ちなみに、前回調査も売上D Iはプラス)。

前年同期比(平成18年7～9月比)



前年同期比D Iは前回調査に比べ悪化している。「原材料の値上げ」(建築資材)、「需要の低迷」(紙文具)、「(県内の)地方ではギフト、業務用とも不振」(食品卸)等厳しいコメントが多かった。

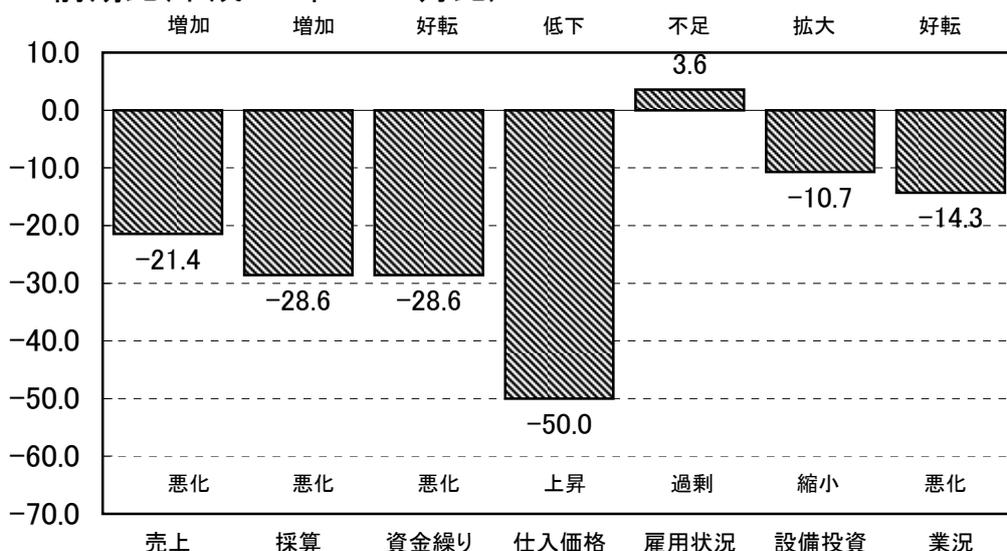
来期見通し(平成19年10～12月見通し)



来期見通しは前回調査に比べて改善。「需要の低迷」(紙文具、食品卸、青果卸)や仕入価格のアップを嘆くコメントも多かったが、年末に向けての荷動きへの期待がみられる。

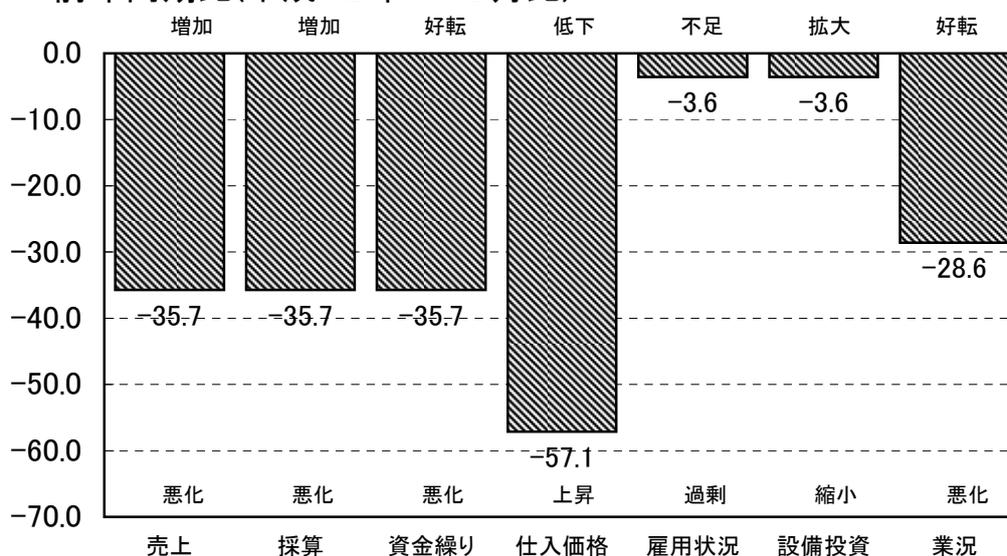
(4) 小売業

前期比(平成19年4～6月比)



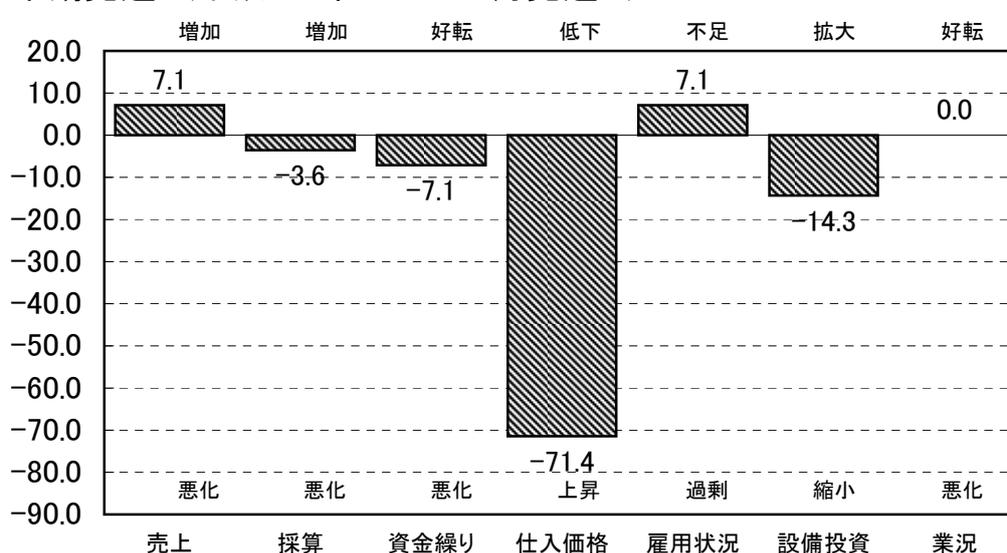
小売業の前期比DIは、前回調査より改善を見せたものの、依然としてマイナス値を示している。中元期の上乗せがあった企業もあったようだが、「業況変わらず」の声多し。また、ここでも、仕入価格の上昇のコメントが多かった。

前年同期比(平成18年7～9月比)



前年同期比も売上DIは、前回調査とほぼ同じであるが、全業種中でも建設業に続いて悪い数値を示している。その他のDI値は悪化しており、「仕入価格値上がり」に関するコメントが多かった。

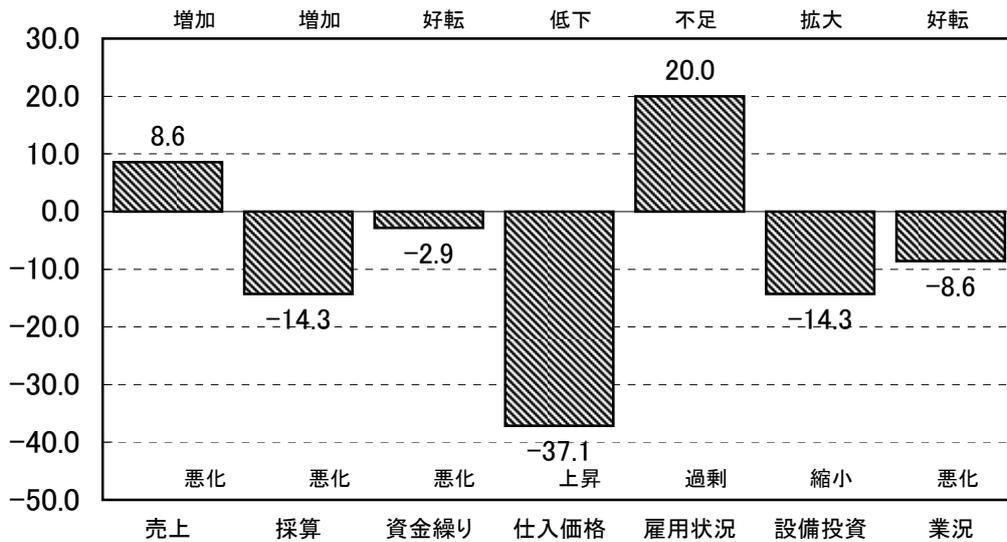
来期見通し(平成19年10～12月見通し)



来期見通しでは、売上DIがプラスに転じた。年末に向けて、歳暮時期にあたることやイベントを仕掛ける動きがみられる。ただ、仕入価格のマイナス値が全業種中で最も高大きく、小売業者の懸念が見て取れる。

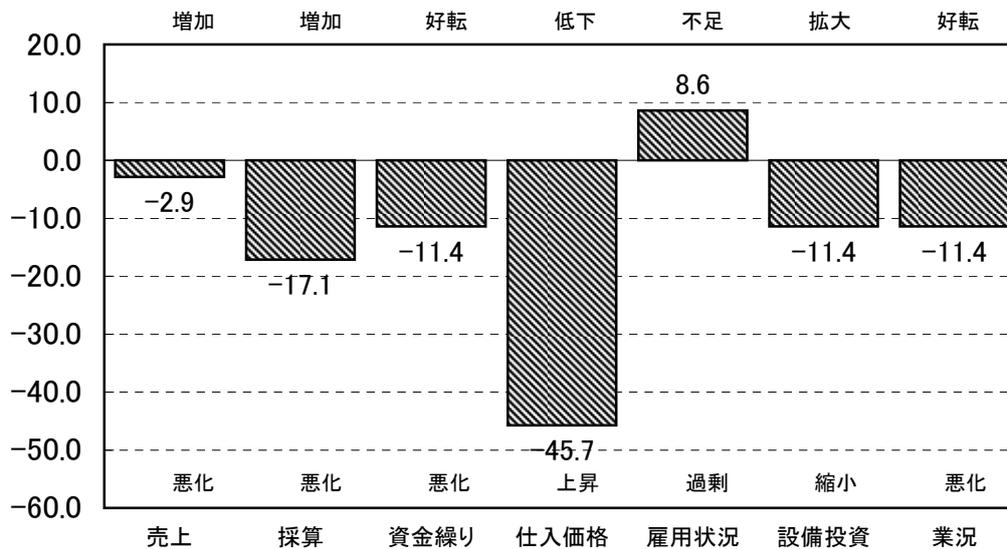
(5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成19年4～6月比)



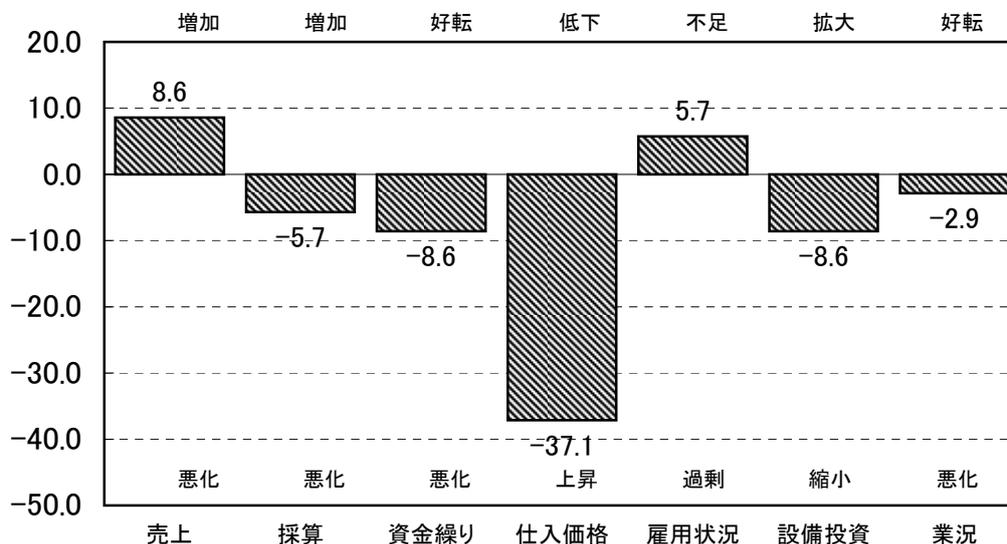
サービス業の前期比売上DIは、プラスで前回調査から回復を見せた。依然として、「競争が激しい」との声も聞かれるが、中国・韓国成長、県外資本の広告増に引っ張られているが、中には、「知事効果」を受けている企業もみられた。

前年同期比(平成18年7～9月比)



前回調査ではプラスであった前年同期比の売上DIが悪化し、若干ではあるがマイナス値を示した。「大型SCオープン3年前の水準に戻った」との声もあるが、「気候の変動」の影響を受けている業態も見受けられる。

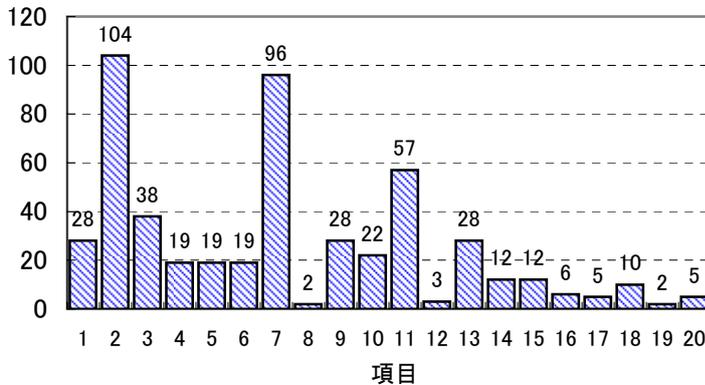
来期見通し(平成19年10～12月見通し)



来期見通しでは、売上DIがプラスに転じ、前回調査より改善を見せた。燃料を消費する業態は原油価格の高騰を懸念する声も聞かれるが、ホテル・宴会関係は年末に向けての需要や「知事のPR効果」に期待する声が多かった。

6. 経営上の問題点

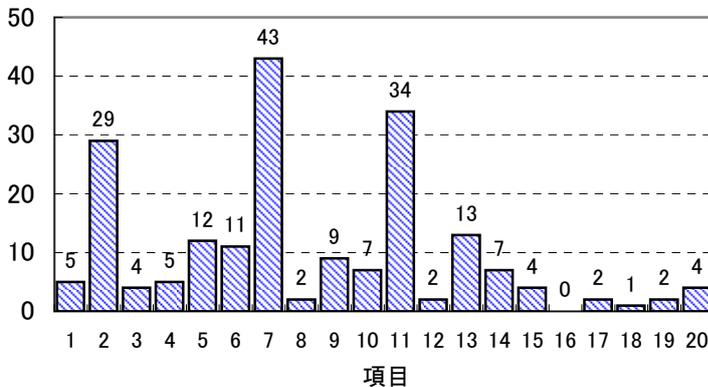
全業種



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化

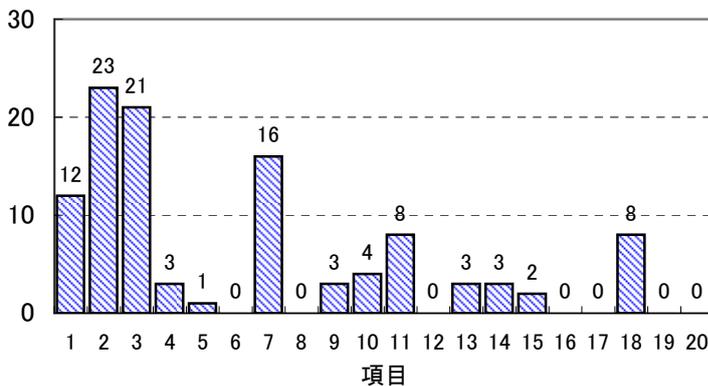
製造業



順位

- 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 需要の停滞
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足
- 5位 生産設備の不足・老朽化

建設業



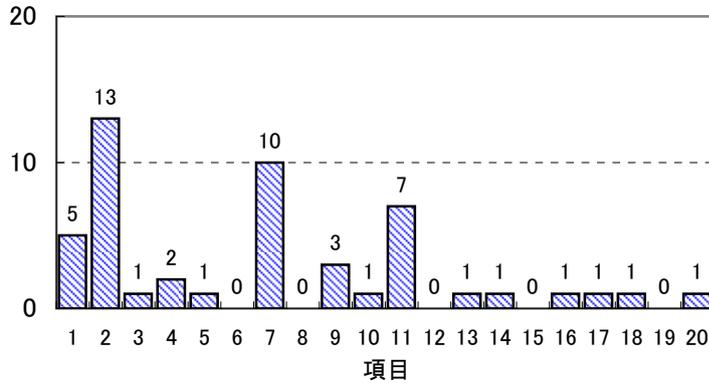
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

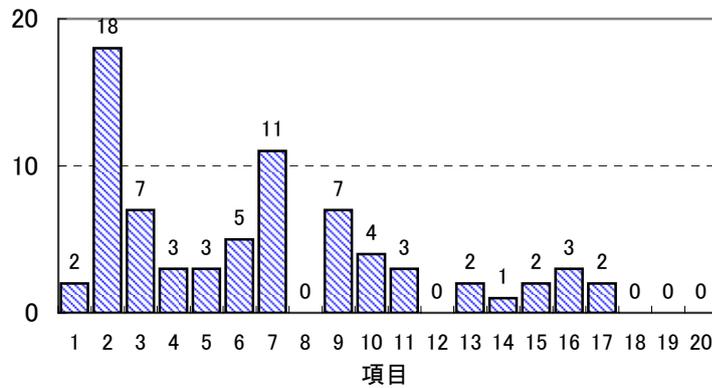
卸売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 原材料・人件費以外の経費の増加

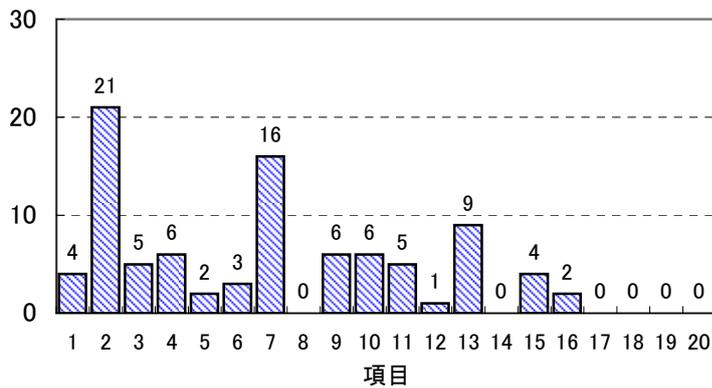
小売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 4位 原材料・人件費以外の経費の増加
- 5位 製品ニーズの変化

サービス業



順位

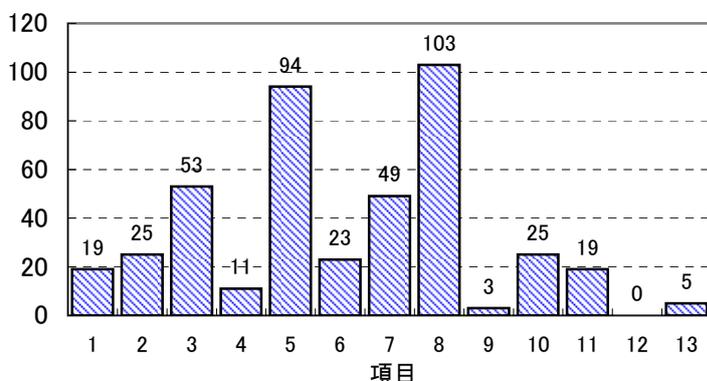
- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 熟練技術者(従業者)の不足
- 4位 新規参入業者の増加
- 5位 原材料・人件費以外の経費の増加

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

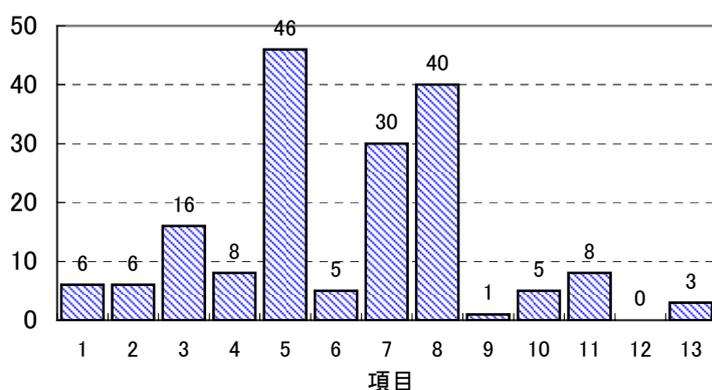
全業種



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 雇用調整を行いたい

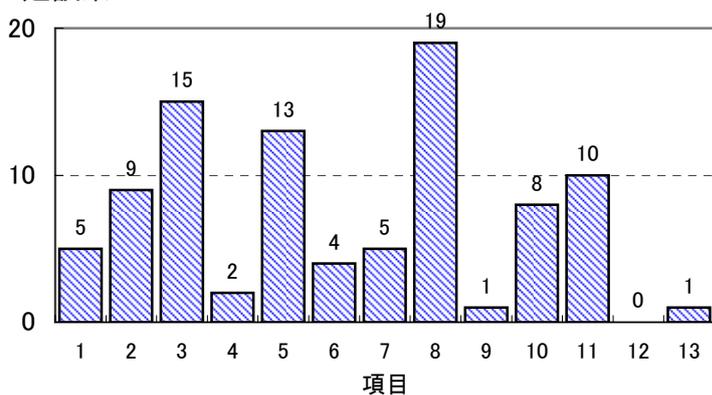
製造業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 生産調整を行わないたい

建設業



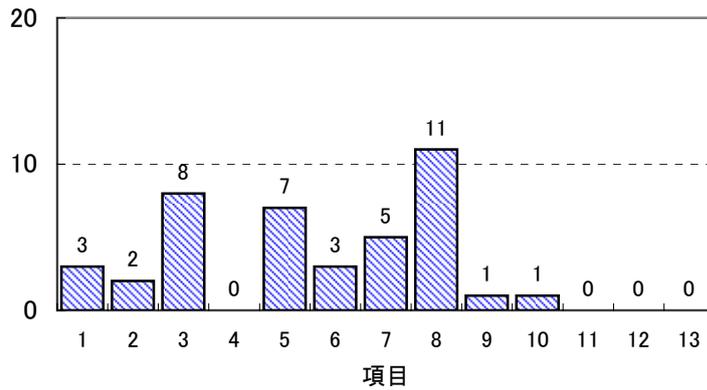
順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 4位 下請け発注を減らしたい
- 5位 雇用調整を行いたい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

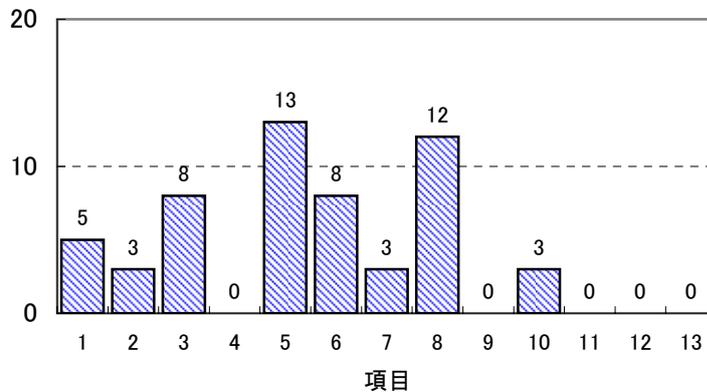
卸売業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

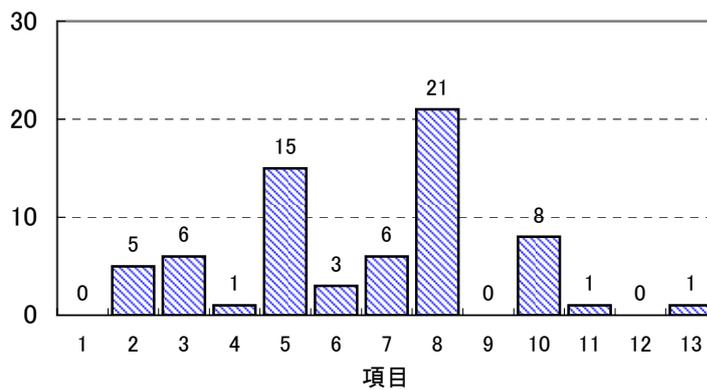
小売業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 設備投資を縮小したい
- 5位 新規採用を見合わせたい

サービス業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 経営の多角化を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 新製品の開発を行いたい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	繊維製品製造業	都城	県外の大手企業の進出により、地元の中小企業の小売業の影響は大きい
製造業	製材業	都城	バイオマス燃料への転換を進めるため補助が必要ではないでしょうか
製造業	醤油・味噌製造販売	都城	新規市場の開拓を行っているが、現実的には難しい。採算がとれるかどうか疑問。あまりにも経費がかかりすぎる
製造業	金属製品製造業	宮崎	石油製品値上げに対する行政指導
製造業	印刷業	宮崎	県内企業の優先化。下請け・外注先が県外に集中している。地元でできることは地元企業に。安かろうではなく、県内企業育成に力を。
製造業	都市ガス製造供給販売	宮崎	現在、投機的な色合いの強い原油価格の動向と産油国の生産動向が乖離していることが市場経済の不安定要素になっとおり、先の見通しができにくい状況がある。早期に安定価格へ行こうすることが望まれる。
製造業	IC製造業	宮崎	原油高騰による重油価格上昇、電力量アップ等民間企業独自のコスト削減だけでは、厳しい状況となってきております。国・県も公務員のスリム化を行い民間企業の税負担を減らす努力をして欲しいものです。
製造業	鋼材加工販売	延岡	一般競争の激化の為、薄利又は、赤字受注の方向にあり、中長期的な施策が必要では。
製造業	自動車専用部品製造	日南	材料費の値上げ、原油高の影響で輸送コストが上がっています。特に輸送コストは重要な問題です。油津港の整備等早急な対応をお願いします。
製造業	紙・パルプ製造	日南	為替ルート、原油価格等、全く先が読めない状況で今後の景況は不透明である。
製造業	建築資材卸	小林	原油の高騰等で不景気に拍車がかかる感がする。
製造業	焼酎製造販売	串間	本格焼酎(特に地元産の赤芋)で製造した芋焼酎、全国でより拡販できるよう行政サイドの支援・協力を願いたい。
製造業	省力化機械部品	串間	エンドユーザー(メーカー)は大変な利益を出していますが、我々下請の零細企業は原材料の高騰。メーカーからの更なるコストダウンの要請等ですっかり元気がなくなっているのが現状かと思えます。設備投資又新規採用等はまったく考えられなく如何にしたら現状を維持できるかを考える事でいっぱいです。メーカーがその点に気づき下請企業に投資をしてくれると良いのですが、今の現状では海外に目を向け自国の企業の事は考えていないのではないのでしょうか？近い将来に下請け企業が少なくなり困るのが見えないのでしょうか。
建設業	電気工事	宮崎	入札制度の最低制限価格を90%前後に上げてください
建設業	建設業	宮崎	適正価格での受注(設計予定価格の90%程度)
建設業	管工事冷暖房設備	宮崎	業界の現状を正確に把握して、何が必要なのか不必要なのかを正しく認識してください。
建設業	電気設備工事	宮崎	一般競争入札により、地元企業は大企業の競争力に負けて苦汁をなめる日々が続いております。クラス別の氏名競争入札方式に戻していただきたい。
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	燃料の値上がりによる仕入材料の値上げで、受注の減少した業容維持をいかにするか。自社内だけの努力だけではどうにもならない問題が多い。景気に対する行政の対策に期待する。
建設業	建築工事業	宮崎	業界の動向は「景気は引き続き上昇基調にある」という日銀短観で示されるようなものではなく、国の基盤産業ともいえる建設業に対しては「締め付け」だけが目立つ昨今であるような気がする。
建設業	建設業	日向	公定歩合や消費税の引き上げをしないで欲しい。

建設業	建設業	日向	電子入札が行われているが、地域導入優先を考えて欲しい。どの地域にも誰でも入札できる制度は良い事かと思う。日向市の物件は、日向市の業者より入札できる制度が望ましいと考える。
卸売業	建築資材	都城	県の知事問題にて公共工事の発注が遅れたことを考えると、県等の公共工事は年間平均した発注ができるようにしてほしい
卸売業	建築・木工・金物	都城	もっともっと本業に力をいれていきたい
卸売業	建築資材販売	日向	今後の土木業への販売、工事等は差し控えたい。当社の主な取引先の業者が、談合問題の一件で、(制度改革が行われ)一般競争入札へ移行したため受注が出来ない。20~30%落札率が低下した為、資材販売にも大きく響いてくる。入札制度を改善する必要があると大いにある。
卸売業	青果卸	日南	景気が低迷していて消費が伸びず、苦慮しているところに、また消費税値上げの話がちらほら出ていますが、値上げは絶対反対です。健康保険や厚生年金の財源不足の解消については、まだ他にやれることがあると思います。不公平感も多大にあります。行政は値上げだけしか打つ手がないのでしょうか。
卸売業	建築資材卸	日南	公共事業によるものが大きく左右しますので公共事業に対する予算をお願いしたい
小売業	写真カメラビデオ販売	宮崎	原油価格に対する対応と新しいエネルギーの開発を。社員雇用(社会保険有)の優遇策。
小売業	各種時計宝飾其の他	宮崎	原油の値上がりがかつてに影響してきて、インフレとも違うようである。そして消費税を上げる話など全く現実の分かっていない政治家の考えで、それよりも国民が我慢するところが必要なことがあると思う。
小売業	総合小売業	宮崎	ガソリン最高値、原油高騰→配達、加工費増、対策を急ぎお願いいたします。
小売業	服飾附属品・手芸	宮崎	駐車場を街の中に作って欲しい(市営)。道路一車線できましたら駐車場にして欲しい。
小売業	百貨店	日南	油津地区にはザピア、山形屋と大型店はあるが、取り巻きの商店街が空洞化しており、中心市街地活性化事業の早期実現を望みます。
小売業	ガソリンスタンド	日南	地方においては景気浮揚の実感が無い。新知事の誕生で宮崎市は観光客が増えているようだが、日南では人の実感が無い。宮崎県内全体の景気浮揚を実施してもらいたい。まずは雇用の場を増やしてもらいたい。
サービス業	貨物運送業	都城	原油価格が上昇しており、運送業界にとっては非常に厳しい経営環境である。原油価格の個安定化のため早急に対応してほしい。軽油引取税の軽減を強く要望します
サービス業	総合不動産業	宮崎	国内において金の流れが片寄っているため、地方にも流れるようにしてほしい。
サービス業	宿泊宴会会議等	宮崎	観光宮崎=ケアタウン宮崎と考えており、誰もが住みやすく、時間を消費できる街づくりが、今後抱えるいくつもの問題を解決できると考えております。
サービス業	一般旅客自動車運事業	宮崎	毎週水曜日は「ノーマイカーデー」とし、公共交通機関利用促進及び環境問題を含めて取り組んで欲しい
サービス業	飲食業	宮崎	夜の宴会や接待が激減しております。知事人気で全国規模の大会をどんどん誘致してください。
サービス業	美容婚礼業	宮崎	税負担を軽くしてほしい
サービス業	ホテル	日南	知事が全国版で宮崎をPRされている。その波によって各市町村の魅力を発信し、観光客の増加を図ってほしい
サービス業	温泉浴場	串間	道路特定財源が余っているなら一般財源に回さずに約40%のガソリン税を一時半分以下にして欲しい